

勢和小学校だより

明日も行きたくなる勢和小 ～楽しく笑って過ごせるように、やって、考え、工夫しよう～



発行日：令和7年10月14日

第21号

前期を終え、後期スタート

学校教育目標：「明日も行きたくなる勢和小 楽しく笑って過ごせるように、やって、考え、工夫しよう」

この目標達成に向け、教職員一同、子どもたちと共に日々の学校生活に取り組んでいます。特に力を入れてきたのは、目標に掲げる「やって、考え、工夫する」ことを子どもたち自身が強く意識し、実践することです。

■主体性を育む取り組み

教職員からの指示や指導に従うだけでなく、学校生活における課題を子どもたち自身が認識し、「現状をどうすればもっと良くてできるか」と自ら考え、工夫することが、真の主体性を育みます。

前期の半年を振り返ると、子どもたちがこの力を発揮した活動が数多くありました。

○体育委員会による「ミニミニ運動会」：

運動能力をバランスよく高めたいという課題意識から、委員会が主体となって企画・開催しました。

○生活委員会による「廊下走りについての緊急集会」：

廊下走りを減らしたいと、休み時間に点検していたところ、1週間で200人程度の人が廊下を走っていた結果を受け、一斉下校時に緊急集会を開き、廊下走りの危険性について訴えました。

○クラスでの振り返り

また、各クラスでも、クラス目標が「絵に描いた餅」で終わらないよう、1ヶ月ごとなどに振り返りを実施しています。何が良かったのか、何ができていないのかを子どもたちが話し合い、次の努力目標を明確にすることで、PDCA サイクルを意識させています。

■課題・トラブルを成長の糧に

学校生活では、人間関係に影響が出るような出来事やトラブルが起こることもあります。私たちは、そのような場合でも、教職員が一方的に指示・指導をして終わらせることはしません。

「どうすればトラブルは起こらなかったか」と当事者の言動を深く振り返らせるとともに、周りのクラスの子どもたちが無関心にならないよう、「自分たちの関わり方」を考えさせています。

課題やトラブルはない方がいいですが、それらは子どもたちが大きく成長するきっかけとなります。

そのためにも、教職員が子どもたちの言動や表情、SOS サイン、人間関係を見逃さず、見落とさず、見過ご

すことなく見守り、適切な言葉がけを重ねていくことが大切だと考えています。

■ご家庭へのお願い

ご家庭で、お子さんの様子に気になる点があったり、学校生活に不安や困り感を少しでも抱かれたりすることがありましたら、遠慮なく担任または管理職までお問い合わせください。学校とご家庭が連携し、子どもたちの笑顔のために最善を尽くしたいと考えております。

全校みんなでミニミニ運動会 ～今回は綱引き～



10月2日、体育委員会の企画でミニミニ運動会 第2回が開催されました。この日の競技は綱引きでした。

ミニミニ運動会は、全国運動能力、運動習慣等調査（通称、体力テスト）で本校の弱みである項目の改善につなげるために企画されました。今回は女子の弱みである握力に焦点を当て綱引きになりました。握力以外にも綱引きは、体幹の安定や下半身の強化、瞬発力の向上などの効果が期待されます。

4つのなかよし班がトーナメントで競技を進め優勝班を決めていきました。スペシャルマッチとして6年生対学校職員の対戦もありました。

競技の後には「楽しかった」という声がたくさん聞け、ミニミニ運動会は大成功だったと思います。

次回は、瞬発力、敏捷性、バランス感覚の向上、筋力の強化などをねらい大玉転がしが企画されているようです。様々な運動を、多くの仲間と関わって行い、心身の健康増進につなげていきます。



応援にも熱がこもります

学校ホームページでは様々な情報を紹介



学校だより右上に掲載している2次元コードは本校ホームページのものです。ホームページには、SOCS活動の様子や委員会活動の様子、行事予定など、学校だよりでは紹介していない内容も掲載しています。

また、本校へのお問い合わせもホームページから受け付けております。一度、本校ホームページをご覧ください。